

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後リリクラブ 赤山		
○保護者評価実施期間	2025年12月12日		2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年12月12日		2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動を取り入れたり、児童にとって楽しく過ごしやすい環境を調整をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題をする児童、活動や自由遊びをする児童、両者が同部屋にいる場合にはパーテーションを区切り視覚を遮っている。</li> <li>・児童が自分で選択できるように玩具や工作材料の配置をしている。</li> <li>・児童のリクエストや人気な活動を定期的に取り入れている。</li> </ul>	宿題と活動スペースをパーテーションで区切っているが、声が気になってしまう児童もいるため、希望児童にはイヤーマフを貸し出ししている。活動ルームと宿題ルームを分けるのは難しいが、児童が取り組みやすい環境を引き続き考えていく。
2	保護者の方に子どもたちの日々の様子など情報共有が出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時のお話や、保護者の方が読みやすいよう丁寧な提供表の記入を心がけている。</li> <li>・小さいことでもトラブルがあった場合は口頭で伝えている。</li> <li>・保護者様から頂いた意見や、相談には出来るだけ早い対応に努めている。</li> </ul>	引き続き、こまめな情報共有をしながら保護者様とのコミュニケーションを図っていく。
3	多機能型事業所の為、児童発達からそのまま継続利用している家庭が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達(未就学児)からの継続利用が多い為、小学校で環境が変わってもデイでは知っている職員、知っているお友達で安心感が持てる。</li> <li>・児童発達からの一貫した支援内容で、長期の見通しを立てながら自立を促している。</li> </ul>	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による作業プログラムが不足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士や言語聴覚士などの人員がないため、専門的な活動プログラムを取り入れることが難しい。</li> </ul>	
2	地域の他のこどもとの交流の機会を設けることができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の観点や、利用時間の関係等でなかなか機会を作るのが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流できる機会を作り、関わりを作っていきたい。</li> </ul>
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後リリクラブ赤山

公表日 令和8年3月15日

利用児童数

13

回収数 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	92%	0%	0%	8%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	69%	31%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・特性と気持ちの両方を尊重したコミュニケーションと、支援をいただいています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	・親が考える範囲以上に、多角的に子どものことを見て考えて、計画を作成して下さります。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	68%	0%	0%	0%		
地域性 民との 交流 や保	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26%	0%	5%	54%		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	丁寧に説明していただいています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62%	0%	15%	23%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・いつも詳しく様子を教えてください、とても助けられています。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・日々送迎時に親身に話して下さりまし、モニタリングで深い話をいただいています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・親子のどちらに対しても気持ちに寄り添い、子どもにとっていい支援を考えて下さっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38%	8%	23%	31%		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	0%	0%	8%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・何かあったときには、特に詳細に状況の説明をして下さります。友だちと喧嘩して泣いている時、悪いことをしてしまった時など、接し方のアドバイスやこれまでの子どもの気持ちの働きなど、たくさん支援いただき、親だけだと手を焼いてしまう状況でも、きちんと向き合ってきていると感じます。	・引き継ぎ、ごまめな情報共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	84%	0%	8%	8%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	84%	8%	0%	8%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	92%	0%	0%	8%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・何の心配を感じることもなく、第二の家の様子を考えられています。	いつもありがとうございます。お子様にとっても保護者の方々にとっても、安心して通っていただけるよう努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	92%	8%	0%	0%	・とても楽しみにしています。祝日も行きたがりですし、話を聞いてもらって当たり前だと考えるほど、信頼しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後リリクラブ赤山				公表日	令和8年3月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	部屋分けをしている。部屋に対して余裕のある配置設定をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童3名に対して、職員1名以上の配置。サポートに入れる職員の配置。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚で分かりやすいように、スケジュール等の設置。滑り止めや身体ゲートの設置。筆記用具や玩具は決まった棚に入れ児童が自分で取りやすいように設定している。勉強スペースと活動スペースを分けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃や消毒。定期的に環境の見直しを行っている。整理整頓がしっかりされている。定期的にマット下やエアコン清掃をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じて別部屋での対応。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎月、自己評価を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年に一度、評価表の記入をして頂きHPIにて掲載している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	随時意見があった際には見直しや改善を行っている。定期的にミーティングを行い共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に研修を行っている。資格取得、研修など、キャリアアップを図っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0%	0%	HPIにて掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	0%	0%	保護者のニーズ、子どもの状況に合わせて支援計画を作成している。定期的にモニタリングをしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	1人の意見でなく、児童に携わる職員間で日々の様子を確認し共通理解の上作成している。個別支援計画書を全職員が確認している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	各々の支援内容や目標など、個人ファイルに添付し、都度確認して支援にあたるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	発達検査の結果や、保護者からの聞き取り、日々の行動観察を踏まえてアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	本人支援、家族支援、5領域を含む内容で設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	全職員で案を出し合い設定している。		

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	固定や偏りが出ないように工夫して作成している。 児童の好みや、傾向に合わせて設定している。 児童リクエストを定期的に入れていく。 同じプログラムでも内容を変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団活動、個別活動を行っている。 各児童の趣向に合わせて出来る範囲で合わせた自由時間の過ごし方を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	各々の出勤時間が違う為、LINEグループにて全体にその日の共有を行っている。 時間の共有やその日の活動等、事前準備したものを当日活動担当者に文章もしくは口頭で引き継ぎしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	各々の退勤時間が違う為、LINEグループにて全体にその日の共有を行っている。 日誌に記入し共有している。 職員同士で話し合い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	サービス提供表や業務日誌にて記録している。 重要な内容は文章にて共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に1回、必要な際にモニタリングや面談を行い、支援計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ て支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関 や保護者との 連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	選択肢を出しながら、児童が自己選択、自己決定を大事に支援 を行っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者、児発管だけでなく、複数人で参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	学校との情報共有や共通理解を図るよう努めている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86%	14%	必要に応じて就学前の保育所や幼稚園への連絡や情報共有を 行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	14%	86%	現在、移行児童無し	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	0%	100%		機会があれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	43%	57%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時やサービス提供表、モニタリングなどで日々の様子を 伝えている。	
保護者 への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	57%	43%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	100%	0%	契約時に必ず説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリング時の聞き取りや意向に沿って作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援内容を確認いただき、同意の上サインを頂いている。	

	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時やLINE、電話、必要に応じて2者、3者面談を設定し相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	感染症対策や個人情報保護の観点から現在は個別対応を中心としている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	重要事項説明書に苦情窓口の記載、口頭での説明を行っている。申し入れがあった際は、当日中に対応するように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラムで週に1度の投稿と、定期的にインスタグラムのストーリーで日々の様子を配信している。LINEで毎月活動表の配布を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き書庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	子どもや保護者の理解状況に応じ、分かりやすい説明や視覚的支援を用いて、子供や保護者との円滑な意思疎通と情報共有を行うように努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%	86%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各委員会やマニュアルの策定、定期的な訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPの策定、職員だけでなく定期的に児童も含めた訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントで確認の上、随時変更があった場合は確認し職員間で共有している。薬の種類や量など細かく共有されている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画の策定、定期的な訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約時の説明や緊急時の連絡方法を確認している。災害時対応マニュアルの策定。事故や緊急時の対応について同意書の作成。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた時は、事業所全体で周知の上、早急に改善案や環境の見直しを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会の設置、定期的な研修を行っている。3か月に1度の研修がある。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%	身体拘束なし		